

みんなで作るすばらしい体育大会 ～第41回体育大会から～

6月12日（日）、天候にも恵まれ、県立氷上西高等学校第41回体育大会を予定通り実施することができました。ご来賓の皆様、保護者の皆様、地域の皆様のご臨席のもとに開催できましたことを心よりお礼申し上げます。

開会式の校長挨拶では、「みんなが主役の体育大会」になるよう、次の4つのことを実行してほしいと述べました。

- ① 自分の出場する競技で全力を出すこと
- ② がんばる仲間を応援すること
- ③ 大会運営で自分の役割を果たすこと
- ④ 進行に協力すること

当日は、競技の進行、場内アナウンス、審判、機材の準備・片付けなど、107名の生徒で係の仕事を担当しながら自分の競技へ出場するという、とても密度の濃い体育大会でした。まさに「みんなで作る、みんなが主役の体育大会」でした。大縄跳び、応援合戦、綱引きなど、クラスがまとまってカー杯がんばる様子は、「やる時にはやる」西高生の姿を強く印象付けてくれました。

スポーツは、競技する人はもとより、それを観ている人にも感動と元気を呼び起すものです。観覧席には、約100名の保護者、ご家族、地域の皆様にご来校いただき、氷上西高生の若さ溢れる力強い姿に、大きな拍手と声援を送っていただきました。

生徒たちは、保護者の皆様の応援に応えるようカー杯がんばりました。保護者の皆様のおかげをもちまして盛大な体育大会になりましたことを、改めてお礼申し上げます。

クラスの絆が深まるとともに、がんばったという達成感とさわやかな笑顔に満ちた楽しい体育大会、すばらしい体育大会になりました。

（校長 高橋信之）

